

滑川高校の竹嶋投手が巨人から指名

(10月10日)

10月3日のプロ野球の高校生ドラフトで巨人から四巡目で指名された滑川高校3年の竹嶋祐貴投手(舟橋村)が市役所を訪れ、市長に報告をしました。

市長からの激励を受けた後、竹嶋投手は「けがに強い体をつくり、早く一軍のマウンドに上がって活躍したい」とプロ生活に意欲を見せていました。



児童館まつり

(10月6日)

「児童館まつり」が児童館と行田公園で開かれ、たくさんのおもちゃや親子連れで賑わいました。

子どもたちは、綿菓子や豚汁、どんぶり焼き、ポップコーンを食べたり、スリッパ飛ばしや手作りおもちゃを紙で作るなど楽しいひと時を過ごしました。



福祉のまちづくり事業に寄付

(9月28日)

社長就任を記念し、(株)パルフェ(和泉良太郎社長)から福祉のまちづくり事業に役立ててもらおうと、市長へ寄付金が手渡されました。



「あいらぶ湯」利用者5万人を突破!

(9月20日)

6月11日にオープンした市民交流プラザの入浴施設「あいらぶ湯」の利用者が、当初計画よりも約1カ月早く、5万人に達成しました。

5万人目の中島節子さん(幸町)と前後賞の弘子さん(節子さんの母)、上井ヨシエさん(富山市)に市長から記念品が贈られました。



滑川ほたるいかマラソン

(10月14日)

ゲストランナーに、ソウル五輪女子1万メートル日本代表でタレントの松野明美さんをお迎えして「第11回滑川ほたるいかマラソン」が市総合体育センター付近をスタート・ゴール地点で開催されました。

ジョギング、3km、5km、10km、ハーフマラソンの5つの部に総勢1,361人が参加し、秋晴れの絶好のコンディションの下、心地よい汗を流しました。

当日は、海洋深層水の脱塩水を給水や大鍋に使用して振る舞われたり、お楽しみ抽選会も行われました。



市環境フェア

(9月29日)

第1回目となる「市環境フェア」が、環境にやさしい滑川市をつくろうをテーマに市民交流プラザで開催されました。

会場には、小・中学生が描いたエコポスター入選作が掲示され、市内外の各団体が環境保全やリサイクル、地球温暖化など、それぞれの活動をパネルなどで紹介しました。



体験コーナーでは、牛乳パックや包装紙でのマイバックや鉛筆たてなどを作り、産業廃棄物の処理過程を説明した企業展示コーナー、さらにおもちゃや傘、包丁などが低料金で直してもらえる修理相談コーナーなど、たくさんのコーナーが設けられ賑わいました。

また、この日、エコポスター入選者の表彰式も行われ、この後、八川進氏(地球温暖化防止活動推進委員)がエコライフの実践体験を語るなど、大勢の来場者は環境問題への意識を高めました。



市美術展

(10月20日~28日)

「第54回滑川市美術展」が博物館で開催され、日本画、洋画、彫刻・工芸、書、写真の5部門に130点が出品されました。

主な入賞者は次の皆さんです。(敬称略)

- ◆日本画 市展大賞 綿屋偵以(有金)
市展賞 山西富子(上小泉)
- ◆洋画 市展大賞 畑岸玲子(常盤町)
市展賞 井黒愛子(高月南台)・伊藤守克(堀江)
- ◆彫刻・工芸 市展賞 田村美恵子(有金)
- ◆書 市展大賞 池田悠園(荒俣)
市展賞 山本晃士(上市町正印)
- ◆写真 市展大賞 畔田齊(神家町)
市展賞 浜田茂行(中川原)・湯口千鶴子(柳原)



市高齢者スポーツ大会

(10月5日)

市総合体育センターで「市高齢者スポーツ大会」が、市内の老人クラブの会員など約500人が参加して開催されました。

参加者は4組に分かれ、男女がペアになってボールを棒にはさんで運ぶ『あなたがパートナー』など8種目の競技を楽しみ、お互い交流を深めました。

また、柳原保育所園児たちによる遊戯の披露や同園児たちから交通安全を願って、前日に摘み取った「交通安全りんご」も手渡され、参加したお年寄りたちの顔はほころんでいました。

